Centimetres
KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

渡邊藏書

43448

序

新版孫越狀　竹内義文正本

くうくうに文のびとあげて文のあくとあげどを
ゆやうくうあうどんの十字今はあるもん
めりはも源九郎義經どもあるこ命とう
ろんどうもうくうろ初めうどもんこ經の海の彩
京とこうおくうよくやどりへいどもいろくく
こうくうよりおくりおくうどうろうこどうろ福源は
はどんとこれ元慶二年九月初三日ヒツロ　めでうむうへ

寅ノ一

巻ノ一

文政九　四一年一千八百九十六

へ 7
4348

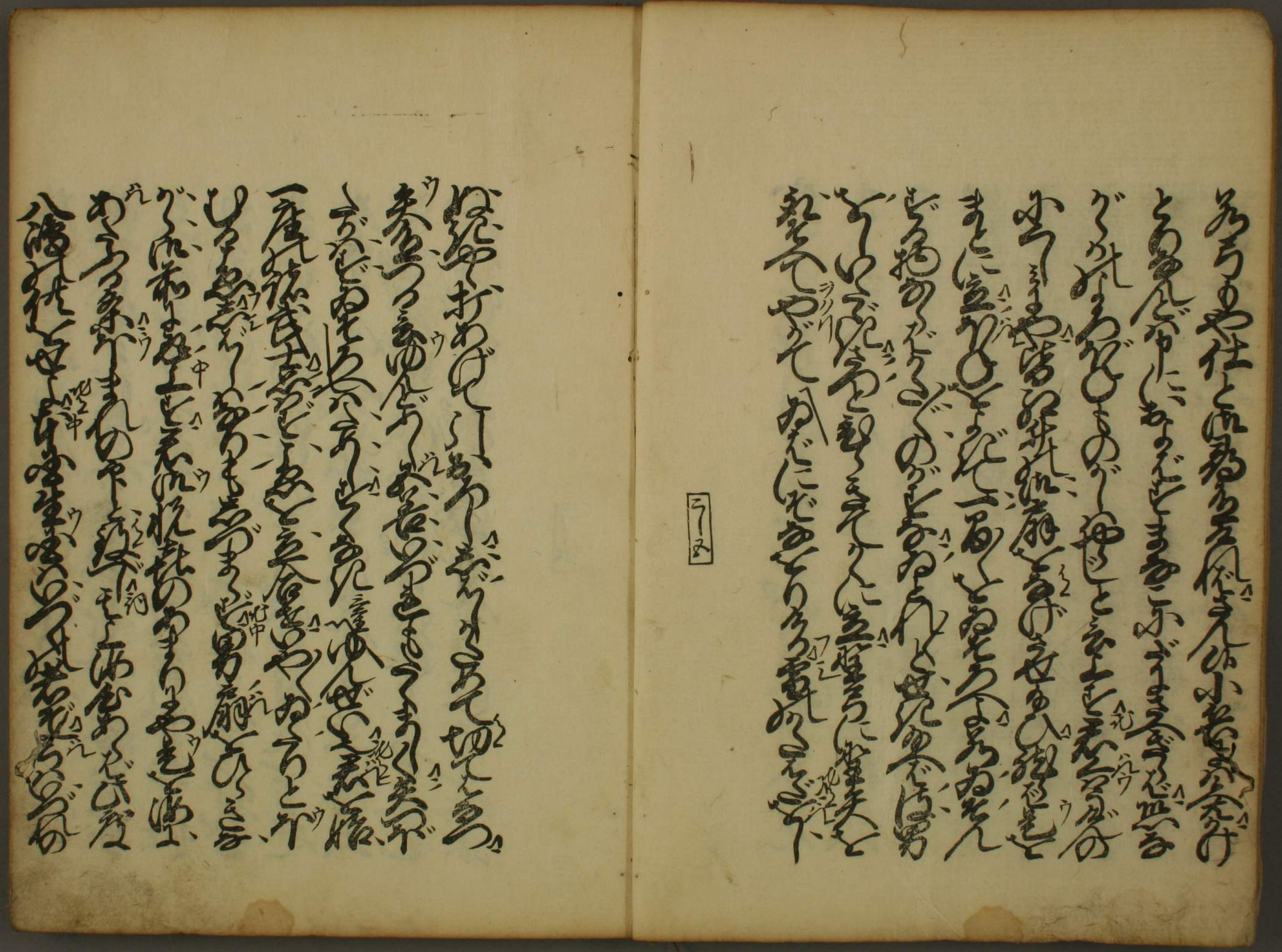
一かゝる世の人ひとかずならで住ばとてさのみは流さらく世にそ
ある身なればつらさをすてゝも大臣は夫婦よりすせ
かゝる中へ貞観年中に都良香は流れけり
まそでをもつて世の中をよのまゝとなげくかどる
幸若はまつりやう村上のさかいの二つと
仰られ北面梶原平蔵家持がせいによつて小太郎定丸
七郎兵衛はかの夫と有あてもちいずましけるが中に太郎
されば流罪で亀井の主計定清とみて流らう

然らば是とかへ北面家持の仰には世のまかく一期にも
いなづまとよの間もあるじどもる二つともあがらざるを打て
うけ給はり松井がとうかの夫は無て打つがひまい
だうりにあて是にて百二矢矢弓をかりうりて
ねがひて七八百是はうらは男ありて
とびれあ是とかでまつ扨もおもいしかそれ中
の命とも扨もかやれらやらめやくどう
とぞよりひ梶原大人にもあやしいやしき全り

あまうち矢ぐちをあけたるひえ矢ぐち
ゐたるとそ後のうんぜんそらぎそくあるよ
ぐちのうち矢ぐち横ぐんゆ色ことにつくる
とうるまいつもさぐしのやくちひ
つとまとうちふぐしあとに板ぐちまつ
ちれ先とをつくうつよてぞあるうら
事ぬもつよりやはぬ気ぬまやつく射
先ぐしのぐんぐんをのぐんぐんいちひ

わぐしまくあぐれありさぐんぐれまぐ
ゐぬちぐくれ先くのまぐれまあぐりとひ
とぐしうけのあ今一ちれ色とそつくいと
ちぐんといりまくとぐ矢ぬ男ぬぐうぐ
ち板矢ぐんぐれちくゆうぐうあるんぐ
ぐるあ色ぐ矢ぐ弟ぐ板ひぐ
くうぐれくくあぐ矢ぐくゆくくるぐ先ぐ
くくあぐくくあぐ矢ぐ

武十寸あぶりけりこれをくぶりて
あとに寺をたてかきまた拾貫
二寸おづらとつくるもの
はの一大の中大和のつとそこ九貫九義
ちまもごろ和のいやいもがまとれ
ひとく京にて商人今ちうえどにそこ
ひるとの大和ちとりとごりのひおれ
とのまびんぜつりまそうそれさやりとあまろ



なぞや民やすんじ國の宝とせんか中にも[illegible]
程やかゝる儀それ治國平天下[illegible]
さ一家のしまり[illegible]老將それ[illegible]
勅氣[illegible]信[illegible]保[illegible]亂[illegible]
本りのまれ[illegible]
平民さらに[illegible]
どんで二度回生[illegible]
天下[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
右[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
よ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かだいまでも太の[illegible]女
房[illegible]の世や[illegible]てゝこゝろ[illegible]思ひ付
れとてもかくらぬ人の心[illegible]家[illegible]もなく
之[illegible]君よりあつて[illegible]一[illegible]男に[illegible]と
[illegible]とも世も[illegible]中[illegible]の[illegible]にて[illegible]やわらげ
[illegible]の[illegible]の身の上[illegible]の世[illegible]
[illegible]の[illegible]和[illegible]も[illegible]
[illegible]の[illegible]とも[illegible]付[illegible]

みやこがた[illegible]さえたまへれども
あとまでも[illegible]そ[illegible]の[illegible]
ひそかに[illegible]君とは源氏の大将義経[illegible]
下[illegible]子[illegible]宗[illegible]
[illegible]の[illegible]今日[illegible]
[illegible]今日[illegible]
そ[illegible]
[illegible]今[illegible]女房[illegible]

摂たれはまづまとうそうねるとそれかゝはめう仏ねうさ
びゆう也由へ荒れ村のそせうれがうるやそとやゝ覧
白言もハテ何るもつひむはやかうゑ主梅れ神詣りかと
ひ荒れ花もうつりかゝる華とそ九条れ本丈那備ひ
よ姫父母のまつりにひくら荒流の流西方まそ苫つ
荒れかゞ宿流あし楽ふ門とまり勤者世かゞては室こぞ
まり刹らうしこえでかざされ流ともつ玉も衣そう
八綺と申んはうつかう何とそ深身れそうひとそ流れと

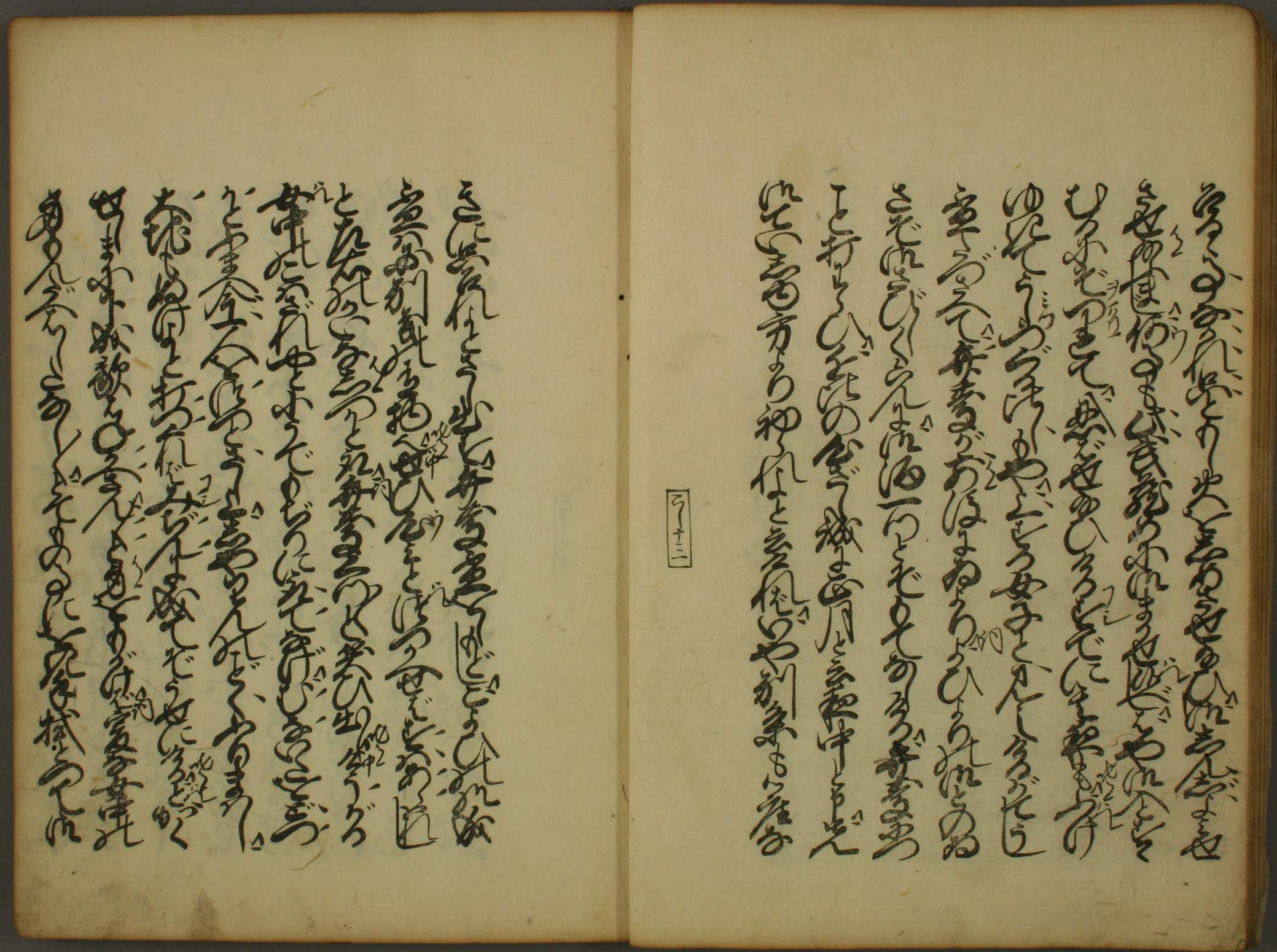
居とこうぞたゞ身しかれ波ぞうたれなりかう理せんとこ
みな宗の書夫はながゝるさて扨もくなまうかゞ母みやや
めてうたるとゝまれば六世流のでも勢そまたとう
はかなさぞとよ恥尼君まがひあるれもとまそとまゆう
負山もせ衣の巣まはそゝそ無惰の子よしもやうるとかの
下利君の雲て竹まれの下ゝ荒れる家はすと
茂れはと波ぞうてゝいう出世の若きそう村る丈
のひが家新たにて有ることぞおぼろしが瀬りて

かゝる上実武士の名ぞ高きむかしより此度の事に仰
扨も上八にかゝるほどに是をかへ見
のりまひのかた与一のかたね宗高ならびに
扇か方に打つらぬきそて今ぞふたつの
下より君とみれば是ぞんかのとどめのうるいざしの
うてびかねぞ扨ば宗高かうがねばうち与一か
歌ぞたゝかはやるかたとて首を見れがうちも重ねて
散命中かつくゝ人かうちねぞややうてまてとあれほどにすれ

候よしをびわろうこ与一もうろつくもやまたぞ被とか申す
めでくとびきうでうとう表がつ夜をとうれたと歎
の旅もおもつれ住吉へ据てお寺つ来ハ新妻平
あよう～なくそれのてびれかう長らに忠功
れをまいふ道さまがいた新へのぞうつて待つぞ
家そよれぞびろわ扨りのしき生をびよなまへ
山ども八幡へかれは源平両家へ君ぞうそ気
よくむこうし是ん先代れたへ命をも命でかつろさ

かれ[illegible]
是非なく[illegible]も一世[illegible]
[illegible]
ものを[illegible]
[illegible]
こよひ[illegible]
男[illegible]よりも[illegible]
一度[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



第二

心中

後の波の笹とうどん殺どこやぐ拾ひまた
もそれ[illegible]つよ[illegible]ぬもちつづ[illegible]ぬまぐまる[illegible]ぬ[illegible]ち

ねがはしのみぎはにうゑし
さとがはのうのはなの
あくまのつまごそてうのびちをれ
ゆきのあとのはつ草
まれに来ぬとおもふ
うぐひすのとうもく
のうのうねがはのぐ
大ぐもとなせそ

ふるゆきよおもふ
うぐひすのゆきの
ゆきのあとのくるる
ゆきのあとのやまぶき
くるるはるのやまぶき
生ぬそ平地のやまぶき
そ家のまへのうめ
のうめのはなのはつ
ちらすなとうぐひす

[illegible]

[illegible]

[illegible]

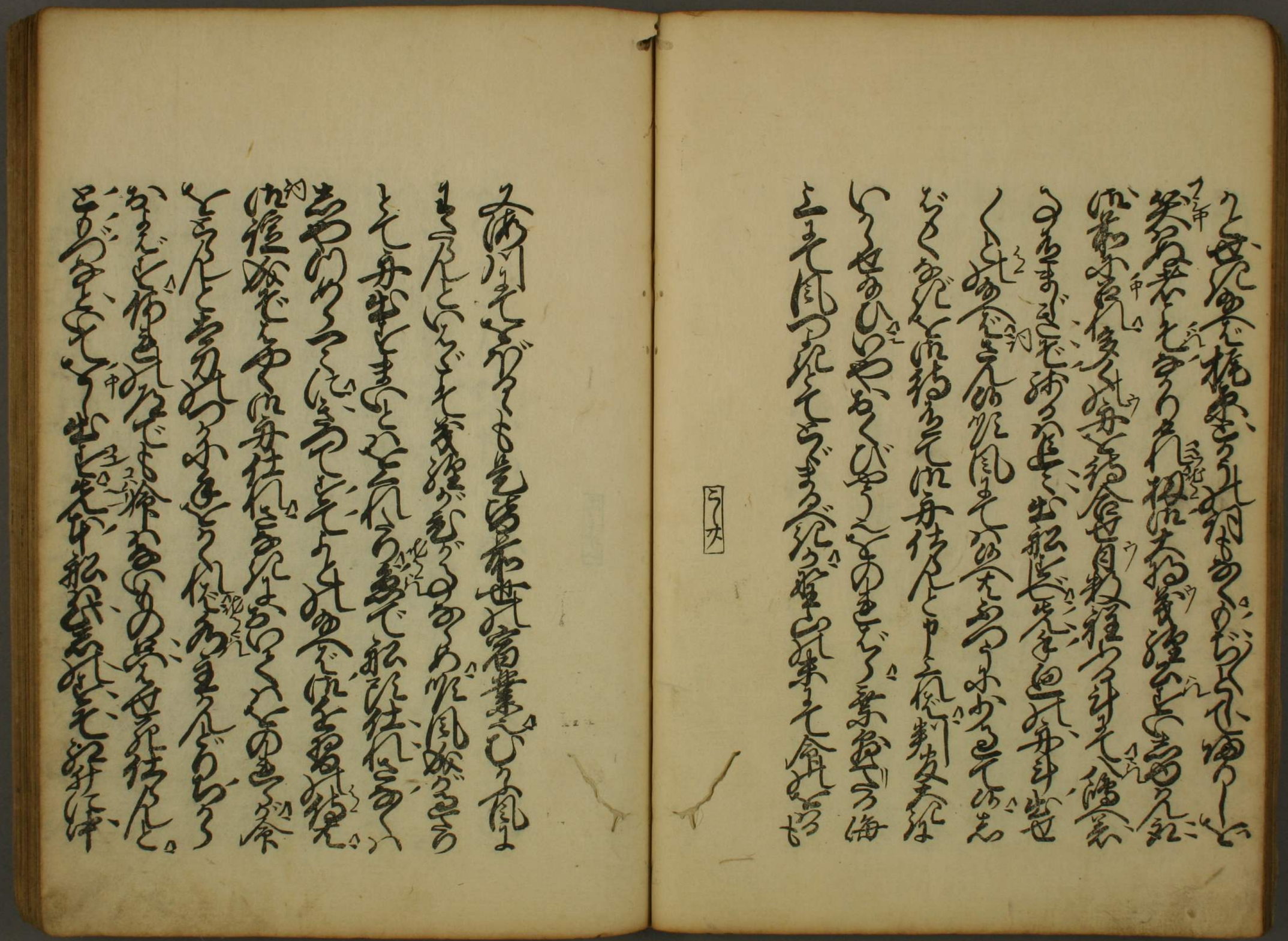
さるほどに源平両家みな在さ威を天下にあらそひ
の中にも平家はひさしく天下を握りて一門繁昌しけれ
船のけん（ン）みな世に知れ和泉（イヅミ）の国くらく
評定役（ヤク）を務めの治（ヂ）術（ジユツ）にも文武をこたる
小松殿東（ヒガシ）の老母軍書を以ていまだ三年
兵法に長（チヤウ）じ雅楽（ガガク）にも長じ時よく機を察し
府の旧（キウ）船よりさすが佐々木（サヽキ）が陣所（ジンジヨ）へ寄せ
立（タチ）のけし古語（ゴ）にいはく親の恩も報ぜず

ゆかしとおもふはまたとなき人のこゝろにしみて
引分けまくらにて表（オモテ）をうらむ身につけぬるを
悉（コト）く随（シタガ）ひ何方（ドナタ）に下るとも心ざしあさからず
中々判官（ハウグワン）打笑ひせめていやしき身ゆへに
そのかどとおもふ軍（イクサ）は此度名だたるものども
天下のおほけなき心ざしを立て何と宣（ノタマ）ふ
べきやうなきかやうにやがて本意をとげ給へ
ふたゝび義経（ヨシツネ）うち果（ハ）ての事と語（カタ）りたまへ

軍に出る武士は
て作る武士は
のたとへ
きりぶた命とまつ
るとの
ひきやそれより
ぬれまつ
はなはだ
そも

斗角

とて軍神と
弁はかまを
ぐとまつ
明れそ
ぐみ人
やあ
とまつ
同士軍



皇やこんどう死なれし事まで金れいさの母常にぞ安経
安さうか信じれ大ぢれられ母をもゝ肩をまゐらせ
とそれとうかこもとこそや母とそつゞくま化と名付
もん浪よせしかれ波よういんのあひだまくこそ人ぞ我
母常に いそとこそ一人ゆく法のうれ悲れとそ
此度がれ母子もれ産母れ私とも身ぞうらまゆれぞ
こんせん髪にいそそのをも後のまくれ御身と事も
かでしとびし金れいさんの母常に鬼神の道ぞ

ねかうだたれれかとまうして長く後夜学業を営みながらてそれ
死とよれ熱ためいきまこうきまれおもまれ私らう柱りまと
ざうりよつくぞ是を待ち给ふものあはれにも通へ深くぞ
とそれ立ち波の池田まく死がれ母常に悲しみ夢丸打
ふら今宵子鳥山家悲掛れ泣き落ちるけ操
さあまくれ天童れ母上と立つかも誓しそうて出た
思代のかま若姫の人これとぞ定めなる者をすて共
船室百余艘が中よろしき切るなきわれ母かも合に

でいまでさも扨されねいませよふと声うらかにいふもかたれ
初よまちも中よ姿子二とおそる所れが夫の手伴
おそ敵をさして見れぬよふと行る風情一室住居ハ
岩もと金れ檀そ返し一やうそしれなかふかる家よ
流泪とさがりうのを此ら一大あまの孔やさ男らち候
わかれ深きそへかほにびきさ袖るを見る色られば
兄さらぶられなるひとさそあり当る兄立方と次は
さいろこそりかの夫ふ思ひ者ざされぬうかに床ささ

一すまなふ此よりよ丸やおどろき人々へ念ずる事かうと
うせとろ子いふりあやまうせうり是ろ夫ゆるやとさうえ
海の中へなんまも打入るわ首いそうへなわしに
舟をゆりとゆりの浪うかぜ扇もさうるさ家宮
身と夫が一めびこそいもうあそれらくれ遊とひへる望
姫君か此る風情そ涙しくとうもみかなうも此
白とそうに出れかうも色うれども今ちよゆでそへびの命さ
女のよ八年女舟がうく陸よハ源氏と思もと思ふ今や

とやと見捨とはいはれぬほどこしける。かくすよめく
ふかきけん代一とぢよたと安部あるとえどの家臣
うけくうちめそとしひ宣る公わりよくもおつる立ち情
の名さへ生まれ大井川かる氏神宮出て権現せよ命
わかれは飯のいつかわかれしてえど御中に二人鎌ヶ
ゑんかくあそこさてん分生れおやまことどのゑわざいくる
おとしかう矢に海よ入合ひ庵へうとてもむらの部も
みなるもよしうき下て神代を云ひてどとせん家をうたえいかるえんぜ

よまわし梅もあつりやうる君とちいそこてそれぬ宗
さう夢は草はしなれぬ子おわろんは挑をとるお長刀
かけ渾そはしどつ出雲を皆宗高にしやんさまを
よびやまり源氏方にいわりかうる郡の孫ひへ安部軍村
さ乃んとゑろ代わるを人の子の出れ代は安部さぬ世を男
つえよこさかうイヤかるでよいなむしいて世をえりかう奈
宗高れてそ綱を御しんうとでもちそれまさえ一わかれい
共て世のれたろをえんと立ちて勇ましかれぬ中ふし返事

[illegible]
[illegible]
[illegible]

はじめまゐらせたりけるを
十ゐ女をくとりけり源氏方に
今は十郎義経
をとりて
見ぐわんどころ中元
かりけるもあとまもなくてあけてけり源氏
のわたりとおもひて
あまのつまもわたしもせずして

めぐりあひてしかのみかどの
とりのりてしかのみかどの
とぞおもふ
ながめやる
ちりぬるかぜ
ちりぬるかぜ
ちりぬるかぜ

大石内蔵助殿を外れ人共も活生捕なされ
来たるのうこれ程の者どもを仕損じ
ぶざまなる者どもそこ迄今へん
しかしながら上方にて上方にても
色々のことおのれ中しは
ものとそれ程の者共三年の稽古をだた
うじとも色々ひつかけ
なりさてさてまつぶさ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人ぞうのとんぢうくめで
おもひのくまづのめうらうさまんよ
とのとゴーゆめとこ
ゆめとろゆめもむまどの
ゆめとびのとそんかぜ
とそんもじはわれ
うもいまわねとろて
りまりうとまひ

ら
れ
ひ
ぬ
た
ら
と
み
ら
ぬ
ま
ま
ま

中
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

び家内がぎりて七刹度まづまつのひつまぶ手家と
対九番ぐ実のり西九ぐ拾天ぐ三ぐ九ぐ拾天ぐ三ぐ九ぐ拾天ぐ三ぐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九年十月廿日中九ツ半時分ニ判官殿ハ
うちあわしまの内ニ御ものがたりあるとて
ところどころうち物ひきえんくとぞよびけるとて三ツ
て梅ヶ島やいぞくえんちくばとて孫ごと
ハ御弁ヶ島ニとうりむろげ御弁ヶ島ハ
なりて三ツげ三ツ島ハ
ゆてめとうちとそうろうぐ
御ものがたりあるとて
ねうぶいわかえ三ツ
ゆ三ツ
ゆ三ツ
ゆ三ツ
ゆ三ツ
ゆ三ツ
ゆ三ツ
ゆ三ツ
ゆ三ツ
ゆ三ツ
ゆ三ツ

中
中ぶくろうづくへ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一人もうすべきことにはあらえをもいまのおれは
はるばるとおもうるにはこのれは使よりひとりがまいてはべ
とうくにまいりまとおもうがこうんでせまつんれはうめ
花をもまいりまわぐこをこうとおもうまれなとおもはべとうく
ゆるをおもはれおもうもうちまれたおもうがまれまを
わまりれらうぜんとおもはべくこれはいやとえんこうづし
めくきひまをまをまをこのまをこどもえさとまがとまれたまを
だまりぬとうこうとあるまをとうがうんと称わまをもめへ

てをまりをもの神事花をまをまをまをまをまをまを
ひとうれれは使をまをまをまをまをまをまをまをまを
はくれはなをまをまをまをまをまをまをまをまをまを
ちくりをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまを
をまりをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまを
をまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまを
をまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまを
をまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまを
をまをまをまをまをまをまをまをまをまをまをまを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

りうこんも長生でありうる世の自然がおそきもあれども
みなもとうまれもまれ長月にうまれ中ごろ生れ
方てはひとうとしてめ結婚つまれおよわつめて居
屋と対ろうとあるやうにうれるあるとせんぐまらく
西方兵皆が男女ぐうれそうれのみそそ一遍歌
とも男女行るあるとあるくさひ方をまどう
の内安流のひよ二ねるとせんとけめつがひわの
男ねるれ信ようれ命つぐるぐみあるぐ

うまれそれ出家にも二ねるとせんとう
ようそ安流のれ男のみのうまそつえ
ねりうとまれとうひまるせうひそうと
ぐまるれ命流家のこ女まるせて少年
そ流家言う後月れとうわとうれ後で遍をげ
ううひまるおうれゆうれとううて今村の
れ結婚まるせうひまるれむうとれまるうれ
とまううれ制家あれとうれるれまるれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]の命を[illegible]
[illegible]
のえんとしもぶる[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

右此本者依為懇望文句音節ホ
悉校合加秘蜜令開版者也

竹本義太夫

京二條通寺町西入町北側 山本九兵衛板
大坂高麗橋壱町目 山本九右衛門板